

情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

西暦 2017年1月31日作成

研究課題名	小児急性リンパ性白血病患者における、フルコナゾールまたはアムホテリシンBとビンカアルカロイド併用時のビンカアルカロイドの副作用発生頻度に関する研究
研究の対象	2006年4月1日～2017年3月31日に当院小児科でフルコナゾールまたはアムホテリシンBによる真菌感染予防が行われ、かつビンカアルカロイドが投与された初発時1歳以上18歳未満の急性リンパ性白血病患者さん
研究の目的	フルコナゾールまたはアムホテリシンBとビンカアルカロイドの副作用との関連について検討すること
研究の概要	小児急性リンパ性白血病患者は、強化療法に伴う骨髄抑制のため真菌感染のリスクが高く、フルコナゾールまたはアムホテリシンBによる真菌感染予防が推奨されています。しかし、フルコナゾールは急性リンパ性白血病の治療で使用されているビンカアルカロイドとの相互作用によりビンカアルカロイドの副作用が増強する可能性が報告されています。本研究ではフルコナゾールが、アムホテリシンBに比べビンカアルカロイドの副作用を増強するかを評価することを目的としています。本研究により、急性リンパ性白血病患者における、安全な真菌感染予防方法を確立することが期待される。
研究の方法	対象の患者さんの臨床情報(年齢、性別、併用薬、ビンカアルカロイドによる副作用の有無【便秘、末梢神経障害、電解質異常】真菌感染症の有無)を収集し、関連性について検討します
研究期間	許可日～西暦 2019年3月31日
個人情報保護に関する配慮	患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方の情報はは本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p> <p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学附属病院 小児科 担当者の名前 竹内 正宣 電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-787-0461</p>	